

天文学の扉を開こう

10月の夜空

【球状星団】

澄み渡った空気と安定した天気、秋は夜空に星々が輝く様を見やすい季節です。ところが、一等星がフォーマルハウト1個だけという、他の季節に比べるとなんと地味な夜空が広がる時期でもあります。そこで、今回は望遠鏡を使ってこそ醍醐味を味わえる天体を紹介しましょう。それは、球状星団「M15」です。

球状星団は数万～数十万個の恒星が集まった天体で、中心に向かうほど密になっています。ふつうは中心付近で一定の詰まり具合となり、この部分を「コア」と呼んでいます。天の川銀河での球状星団の発見数は150個ほどで、銀河を包み込むように広がる「ハロー」と呼ばれる範囲に散らばっています。

球状星団の恒星は、誕生してからだいたい120億年ほど経っています。太陽は誕生してから46億年ですから、球状星団の星々がいかに古いかかわかるでしょう。このような古い星々は「第1世代の恒星」と呼ばれます。

そんな球状星団のひとつ、M15に含まれる個々の恒星の質量は、最大でも太陽の80%ほどで、時間が経っても太陽に比べて変化が緩やかなので、惑星状星雲が形成されることはないと言われています。けれども、M15には、一つだけですが、惑星状星雲が発見されています。なぜ惑星状星雲ができたのか、今も謎のままです。

また、M15にはコアがなく、中心部が最も密になっています。ここからはX線が放射されることから、大質量ブラックホールがあるのではないかと考える研究者もいます。

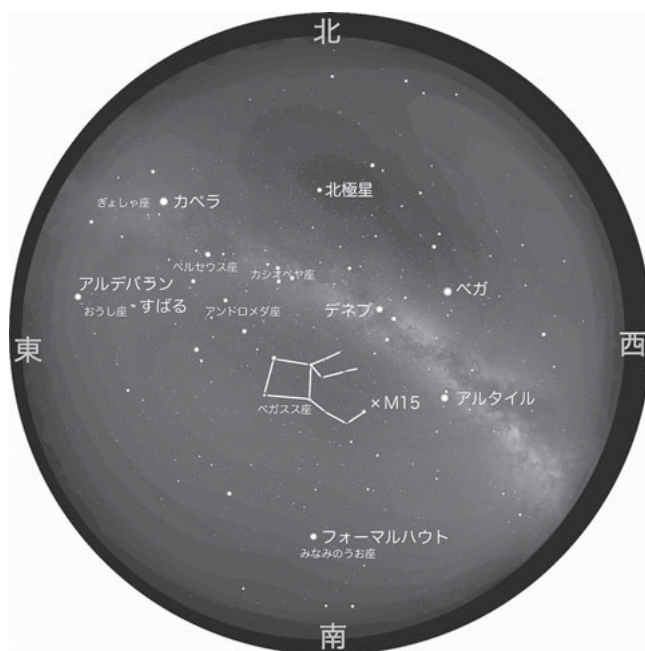
このM15、ペガサス座の方向、およそ3万1千光年の距離にあります。天馬ペガサスの鼻先にあり、双眼鏡では滲んだ点として見えます。無数とも思える星が静かに輝く、そのいかにも宇宙！という姿は、ぐんま天文台にあるような大型望遠鏡で堪能することができます。

10月のぐんま天文台のイベント

- ・ 3日(土)、24日(土)
連続講演会『行け！「はやぶさ2」、
頑張れ！「あかつき」』
- ・ 3日(土)～11月23日(祝)
「宇宙・私の夢」児童絵画展
- ・ 10日(土)、11日(日)
星空案内みちくさツアー
- ・ 24日(土) 携帯カメラやデジカメで月を撮ろう
- ・ 28日(水) 宇宙たんけん(県民の日イベント)

○星図の説明

10月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも
同じ星空になります。(「月」を除く。)



リトルミュージアム

高山幼稚園5歳児の作品

十五夜のお月様には誰がいる・・・？ それぞれに思いをはせて絵を描きました。



ちしま そうた くん



さとう るい くん



いづか りょうや くん



ありま たいら くん



まちだ ゆり ちゃん



ほしの めい ちゃん

こちら「6代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは！第22期緑のふるさと協力隊の手柴瑞代です。

10月に入り、朝晩涼しくなりました。活動期間は折り返し地点を迎え7カ月目に突入しました。

9月は中間研修で東京に出掛けたり、4泊5日の「若葉のふるさと協力隊」を受け入れたりと、活動よりも行事中心の月でした。緑のふるさと協力隊の中間研修では、北は

岩手県から南は沖縄県までの同期26人が4月の事前研修以来に顔を合わせました。四苦八苦しながらも、地域に溶け込む姿は励みになりました。

若葉のふるさと協力隊は、9月14日～18日まで6名の方が高山村に滞在しました。郷土料理作りでは、地元の方を講師に迎えおきりこみはうどんを粉から、またこんにやくは芋から作り、参加者は初めての経験にとっても興味津々でした。また、農家さんのお宅にお世話になり、普段食べている物が厳しい条件をくぐり抜けている事を知り作物のありがたみを感じてもらいました。

最後に、10月は両親が福岡からやってきます。高山村のよか所（良い所）を沢山案内します。

高山ぶらぶら <http://taka-midori06.jugem.jp/>